



志津南 news

志津南ホームページ
http://shizu373.net

志津南学区の人口 (9/5 現在)
世帯数 2,306 総人口 6,340 人
発行
志津南学区まちづくり協議会
Tel(fax) 077-563-6206
E-mail shizuminamimachi@gmail.com

台風21号

まちづくりセンターに避難所 傾いたモニユメント、有志で再建



9月4日に日本に上陸した台風21号は、関西圏を直撃する進路をとり、当学区でもこれまでにない強風が

吹き荒れました。当日、当センターには避難所が開設され、市役所から非常食と毛布が届き、市役所職員が派遣されました。避難所には、前の台風で土砂崩れが発生した伯母川沿いの住民が不安を感じ避難し



有志の手で再建されたモニユメント

感じ避難し

自主防災のあるべき姿探る

台風21号の跡片付け作業時。殆どの町内で自主的に作業が行われましたが、作業の主体は役員の一部と環境ボランティアでした。自

宅前はほうきで掃くが道路や公園は誰かがするだろう、役員やボランティアに任せとおけばいいといった考えの人もいたと思います。残念ですが、これが今の地区の現実のようです。

「災害は忘れたころにやってくる」と言われますが、今夏は忘れる間もなく、災害が次々押し寄せました。今後も起こり得る災害に対し自主防災組織とその活動はどうあるべきでしょうか。

自主防災組織の取組は「大地震への対応」を基軸としています。地震は予告なしに突然襲って来ます。行政の援助(公助)はすぐには期待できません。発生時は自らの準備・行動(自助)と隣近所の協力(共助)しかありません。当地区の65歳以上は全体の40%以上、なおさら(共助)が大切になってきます。

自主防災組織とは日頃から地域住民が互いに助け合ふ防災活動に取り組むことが目的です。このために自主防災連合会があり、防災訓練や啓発に努めています。が、残念ながら行事への参加者は少ないのが現状です。

11月4日(日)午後1時より避難訓練、引き続き若草中央公園で総合防災訓練を行います。湖南広域消防本部から起震車も出動し、記念品も用意していますので、多数の住民の方のご来場をお待ちしています。(若草・岡本西地区自主防災連合会会長 樋口修治)



りょうぶの道の倒木

今年はこの地域を通過する台風が多く、21号は風速40級の強風をもたらし、25年ぶりの記録となりました。公園の樹木の太い枝が折れ、住宅の屋根瓦が落ち、ガレージの屋根が吹っ飛ばすなどの被害が出ました。かがやき通り若草二丁目バス停横に、崖の上の太い松の枝が折れ落ち、歩道を塞ぎました。落下時に歩行者がいなかったのは幸いでした。そんな中、町内会、環境美化ボランティアの皆さん

ききれいな花に囲まれたモニユメントに生まれ変わりました。台風で被害を受けたモニユメントでしたが、こんなところで「ひと・まち・ゆめ」を繋いでくれました。ありがとうございます。 (志津南まちづくりセンター職員)

の行動が早く、台風が通り過ぎるころには地域内の見回りが行われました。歩道をふさいでいた折れた枝の撤去作業を市の道路課に依頼、その日深夜に撤去され歩行者の支障もなくなりました。早朝からかがやき通りはじめ緑道や各公園で折れ枝などの除去作業が行われ、児童の登校時にはすっかり片付いていました。

今年はこの地域を通過する台風が多く、21号は風速40級の強風をもたらし、25年ぶりの記録となりました。公園の樹木の太い枝が折れ、住宅の屋根瓦が落ち、ガレージの屋根が吹っ飛ばすなどの被害が出ました。かがやき通り若草二丁目バス停横に、崖の上の太い松の枝が折れ落ち、歩道を塞ぎました。落下時に歩行者がいなかったのは幸いでした。そんな中、町内会、環境美化ボランティアの皆さん

の行動が早く、台風が通り過ぎるころには地域内の見回りが行われました。歩道をふさいでいた折れた枝の撤去作業を市の道路課に依頼、その日深夜に撤去され歩行者の支障もなくなりました。早朝からかがやき通りはじめ緑道や各公園で折れ枝などの除去作業が行われ、児童の登校時にはすっかり片付いていました。



台風後、除去された枝葉

二次災害防ぐための体制づくりを

今年はこの地域を通過する台風が多く、21号は風速40級の強風をもたらし、25年ぶりの記録となりました。公園の樹木の太い枝が折れ、住宅の屋根瓦が落ち、ガレージの屋根が吹っ飛ばすなどの被害が出ました。かがやき通り若草二丁目バス停横に、崖の上の太い松の枝が折れ落ち、歩道を塞ぎました。落下時に歩行者がいなかったのは幸いでした。そんな中、町内会、環境美化ボランティアの皆さん

ききれいな花に囲まれたモニユメントに生まれ変わりました。台風で被害を受けたモニユメントでしたが、こんなところで「ひと・まち・ゆめ」を繋いでくれました。ありがとうございます。 (志津南まちづくりセンター職員)



隅野さくら 追分南三丁目
 バセンジャー 11歳6ヶ月
 エジプトのファラオに飼われ、ク
 レオパトラに愛された犬だとか。
 今では家族に愛されている我が家
 の名犬です。



鳴くときはコーデルのような高い声



高穂中吹奏楽部迎え華やかだ

志津南学区敬老会

志津南学区社会福祉協議会(上田恒章会長)は9月17日、志津南小学校体育館で平成30年度敬老会を開催しました。昨年に続き学区統一での開催で、対象者229人が参加しました。

今年度は町内ごとに分けて席を用意し、町内会長も同じ席に参加していただきました。気心の知れたご近所さんに囲まれ、参加者の笑顔や話し声も弾みましました。

今年の対象者は817人と昨年の738人からさらに増え、過去最高でした。多くの方に参加いただけるよう、コージーガーデン・追分鴨田・追分南・かがやきの丘に送迎バスを用意しました。また、若草地区は送迎車「ふくちゃん」を活用しました。

式典は会長の挨拶で始まり、来賓の祝辞後、男性女性の最高齢者を紹介、記念品を贈呈しました。最後に、花澤仁左衛門まち協会の長が挨拶、乾杯でお楽しみ

の屋食へ、互いの親睦を深め、和やかに過ごしました。アトラクションでは、高穂中学校吹奏楽部78人による大迫力の演奏が行われ、拍手に迎えられ、手話と合唱も交え、全8曲。アンコールで「笑点のテーマ曲」が流れると会場は手拍子で一体となりました。途中駆け付けた、橋川渉市長に祝辞をいただきました。

村井さんと早瀬さんのギターで「高原列車は行く」故郷、最後に「琵琶湖周航の歌」を合唱しました。

ありがとうの気持ち大切に

志津南学区まちづくり協議会(花澤仁左衛門会長)と志津南小学校PTA(仲田愛美会長)が9月15日、「人権コンサート」兼「子育て講習会」を志津南まちづくりセンター大会議室で共催しました。

講師に全盲の笛演奏家坂井孝之氏ご夫妻を招き、美しく優しい笛の音色とともに「思いやりのある心の育み方」について講演いただきました。

合間に、視力障がい者への声のかけ方や生活の工夫、白杖を持ち上げるSOSのサインなどを教えていただき、とても勉強になりました。

講演には126人の幅広い世代が参加。アットホームな雰囲気の中、坂井さんの笛に合わせてみんなで歌



トンちゃん一座とふれあい広場

志津南学区民生委員児童委員協議会(垣根和子会長)は9月27日、まちづくり七

国内は勿論、海外でも活躍中の「ケアリングクラウンのトンちゃん一座(石井裕子代表)の4人を迎え、子どもたちはもちろんお母さんたちも笑顔と元気を

を飛ばし追いかけて。トンちゃんの声かけで集められた風船を繋げると、2メートル近いアンパンマンの出来上がり「写真」。そしてマントをつけた空飛ぶアンパンマンがみんなの上を飛びわたり子どもたちは大きな歓声を上げ、追いかけて大喜びでした。



は司会の社協福祉部会部長挨拶で閉会しました。(志津南社会福祉協議会 福祉部会部長 重森崇宏)

を届けてもらいました。くるみ保育園の2歳児と先生、地域の方々と50人近くが参加し、会場は歓声で盛り上がりました。

会場いっぱいバルーンや、愉快なビエロの格好で歩く4人に圧倒され、ちょっぴり緊張気味の子どもたちでしたが、トンちゃんの巧みな誘導でほぐれていきました。まず大人がトンちゃんから大きなカラフルリングをキャッチすると、子どもたちも次々可愛い腕を伸ばしてキャッチ。親子で皿回しにも挑戦しました。

最後、民児協からのささやかなプレゼントを手に「ありがとう」と、みんな元気いっぱい帰って行きました。年に一度の開催ですが、子育てに頑張っている皆さんの一助になればと、これからも続けていきたいと思

います。(民児協)

白熱競技に温かい声援

若草・岡本西地区スポー
ツまつり実行委員会(小川
俊夫委員長)は、9月23日、
志津南小学校グラウンドで
第14回若草・岡本西
地区スポーツまつり
を開催、約400人
が参加しました。



前日までの雨模様
とは打って変わり、晴
天に恵まれた中、若草
一丁目を先頭に岡本
西までの各町が、そ
れぞれプラカードを
掲げて入場行進しま
した。森本君兄弟(若
草七丁目)と前川君

(同四丁目)の3人の選手宣
誓が会場の雰囲気盛り上
げました。
健康推進員によるストレ
ッチ、はつらつ体操で体の
準備を整えた後、競技が始
まりました。「就学前児童レ
ース」を皮切りに、趣向を
凝らした競技が続きました。
町内対抗種目では、白熱し
た競技が繰り広げられまし
た。

「新拾って見せて正しく分
別」では、各町内の皆さん
でゴミを分別する連携プレ
ーが見られました。自由参
加の「玉入れ合戦」には殆
んど全員が参加し、玉入れ
に興じ、終わった後の玉数
えにも歓声が上がりました。
「ビンゴゲーム」では、発
表される数字に一喜一憂
あちこちからリーチやビン
ゴの声が飛び交いました。
最後の種目「満水リレー」
では2つのペットボトルを
満水にするのに、あと一杯
もう一杯と走る選手に温か
い声援が送られました。
最後は全員が大きな輪に
なって江州音頭を踊り、「笑
顔で参加、笑顔で帰宅のス
ポーツまつり」のスローガ
ンのもと、いい汗を流し、

お薬

続
よもやま話

ぬちぐすい

沖繩の方言に「ぬちぐすい」という言葉があります。直訳すると「命の薬」という意味です。病院や薬局などで貰う薬とは違い、例えば母親の愛情であったり、おいしい料理、人の優しさなど、心の中が温かくなっ
て癒されるようなことを表
わす言葉です。少し長く「ぬ
ちぐすいむん」となる

<7>

命の薬になる食材(医食同
源)を意味します。
沖繩地方は長寿県という
イメージを持たれています。
その源は四方を囲む美ら海
(ちゅら
うみ)と
空と空
気、新鮮
な食材、
愛情の
こもっ
た料理、
おさら
かで優しい島人(しまんち
ゅう)の心根、というこ
ろでしょうか。



しかし意外ですが、これ
は20年くらい前までの話で、

この原因は、医食同源を
基本とした食生活が変わっ
たためだと言われます。つ
まり、繊維質の多いイモ、
豆腐などの大豆食品、魚、

満の場合、
沖繩県は
長寿とこ
ろか短命
ナンバー
ワン県と
なりまし
た。

2010年の全国平均寿命
のランクをみると、男性は
30位、女性は33位に転落し、
沖繩クライシス(危機)と
まで言われています。とく
に65歳未
満の場合、
沖繩県は
長寿とこ
ろか短命
ナンバー
ワン県と
なりまし
た。

脂肪を落とした豚肉、海藻
などから、白米、ファスト
フード、牛肉などの高カロ
リー
、高脂肪食に変化したこと
が挙げられます。
その結果、メタボリック
シンドロームが進行して、
今や肥満者の割合が45%を
超え、日本一の肥満県とな
ったと言われています。そ
のせいでしょうか、沖繩県民
の死亡原因の1位は糖尿病
だそうです。

ちなみに、滋賀県の平均
寿命は男女それぞれ全国1
位、4位です(2015年)。
(太田俊作)

盛り上がった高穂中体育祭

いい思い出作りが出来た初
秋の一日となりました。
成績は次のとおりです。

- ▽優勝 若草四丁目
- ▽準優勝 岡本町西
- ▽三位 若草三丁目



くさんが、「今年のテーマ
『走姿頑心く忘れられない瞬
間を』を目標に、今まで
の練習の成果を出し切りま
しょう」と力強く挨拶しま
した。
例年通り、団長の選手宣
誓で幕が開くと、各団は競
技にも応援にも手を抜かず
頑張る姿が光っていました。
中でも各クラスの担任の
先生方の必死なサポートが

印象的で、代表リレーで生
徒に合せてずっと走って
おられる姿に生徒も大いに
盛り上がっていました。
全員リレーでは、抜きつ
抜かれつで最後まで諦めず
一生懸命走る姿に思わず力
が入ってしまったほどでした。
恒例の1分間パフォーマンス
では、各団ごとに趣向
を凝らした内容で、団結し
た姿にグラウンド中が引き
込まれていました。

パフォーマンス賞は緑団、
総合・団結は赤団の優勝と
いう結果に終わりましたが、
全員が力を出し切り体育祭
は幕を閉じました。

健康のための食生活学



管理栄養士の佐藤千春さん
を迎え「高齢者の食生活」
について講演していただき
ました。
20人の参加者は、心身と
もに健康な日常を送るため
の食生活について、講師の
話を熱心に聞いていました。
また質疑でも、日頃の疑
問や食事に対するアドバイ
スを求めて、多くの方が質
問しました。

追分南元気くらぶは9月
22日、「ヘルスケアサロン」
を開催しました。写真。
今回のヘルスケアサロン
は近江草津徳洲会病院から
望ましいとのこと。

ポール持ってきつぽんぽん



を招き指導していただきました。写真。

志津南まちづくりセンターは9月29日、健康講座第1弾「ノルディックウォーキングへの誘い」を開催し、講師に全日本ノルディックウォーク連盟滋賀県ウォーキングライフマイスター、ノルディックウォーク公認指導員の高野元男さん

今回は室内で32人の受講生全員がストックの持ち方や扱い方から始めました。ポールの角度、つく位置、姿勢の指示を受け、一斉に歩き出すと、みなさんさっ

人権まちづくりトーク日程

人権教育推進委員会は人権まちづくりトークを次のとおり開催します。

- ▽若草一丁目 11月18日(日) 9:00~10:00 若草第一集会所
- ▽若草二丁目 10月20日(土) 18:00~19:00 若草第一集会所
- ▽若草三丁目▽若草四丁目 合同開催 10月20日(土) 18:00~19:00 若草第三集会所
- ▽若草五丁目 10月20日(土) 18:00~19:00 若草第五集会所
- ▽若草六丁目 10月20日(土) 18:00~19:00 まちづくりセンター多目的室
- ▽若草七丁目 11月18日(日) 19:00~20:00 若草第七集会所
- ▽若草八丁目 10月20日(土) 18:00~19:00 まちづくりセンター和室
- ▽岡本町西 10月20日(土) 18:00~19:00 まちづくりセンター会議室
- ▽かがやきの丘 10月21日(日) 9:00~10:00 きらり会館
- ▽コースジャーガーデン 11月25日(日) 10:30~11:30 コースジャーガーデン自治会館
- ▽追分鴨田 11月10日(土) 13:30~14:30 まちづくりセンター多目的室
- ▽追分南 11月2日(金) 19:00~20:00 追分南会館

そうと歩かれるのには驚きました。

1時間弱ポールを持って歩く練習後、最初数えた歩数より少ない歩数で歩けていることが分かり、つまりはポールを持つ事で安心していつの間にか歩幅が広く背筋が伸びていることに気づき、これも驚きでした。

最後は、皆で輪になってゲーム。隣にポールを渡しながらか、自分も声を出して動く。二つ以上の事を一緒にして、脳を混乱させることの大切さを教わりました。

この健康講座は平成30年度草津市「健康のまち草津モデル事業」に基づいた講座で、ノルディックウォーキングをするだけにならないか、少し心配していまし

た。が、健康増進、健康維持、運動不足解消、転倒予防に加えて、受講生全員が顔を合わせた。合わせて楽しくコミュニケーションできたことが一番の成果でした。

新撰組から見た幕末の京都



志津南まちづくりセンターは9月26日、講師に京都観光文化を考える会・都草

の林寛治さんと野津隆さんを迎え、教養文化講座、第2回「史跡探訪」を開催しました。今回は「新撰組と幕末の京都」をテーマに、新撰組から見た幕末の京都の話の伺いました。写真。

ペリーの来航に始まり、日米修好通商条約を結び日本の開国近代化を断行した江戸幕府大老井伊直弼の独裁政治への批判は、京を舞台とした様々な動乱へ続きます。将軍上洛の守護として京にきた壬生浪士隊のうち「本来の目的は尊王攘夷」と京に残り、警備に携わった浪士達に「新撰組」の名

今年こそ年賀状作りませんか

で用意します
▽定員 先着順 各9人
▽参加費 900円
▽申し込み 前日までに志津南まちづくりセンターへ。(電話受付不可)
▽問い合わせ 志津南まちづくりセンター
電話(563)6206

志津南まちづくりセンターは、次の要領でパソコン(ワード)で年賀状を作成する講座を開講します。
▽日時 ①11月13日(火) ②11月16日(金) 共に9時~12時
①②とも同一内容です。
▽場所 志津南まちづくりセンター
▽内容 ワードを使って年賀状の通信面を作ります。宛名面作成は含みません。
▽器材 Windows8機(ワード2013)をセンター

前者は2時間に1本しか電車が通らない田舎の高校生達の初出場ドラマ。後者は決勝戦で敗れたものの優勝校が霞むほどの人気を博した全員地元出身生の雑草魂の活躍劇。自分達で考え取り組むスタイルは

パソンの駅
▽パソコンについての相談
▽10月23日(火) 11月22日(木) 13時~16時
▽志津南まちづくりセンターサロン

折々の記



努力 愛 希望

モリカケ・パワハラ・入試差別……地震・豪雨・台風と、人災・天災のふりそそぐ日本列島の中で、今年一際さわやかな出来事があった。キーワードは「努力・愛・希望」。

3つ目は、人生初体験の読書書法展入選事件。ただ好きだからと書道華道を楽しみながらタレタレと日々を過ごしていたが、このままでよいのかと立ち止まってしまった。私のこのりの時間は長くはないし、やりたい事とやれる事には限りがある。自分とは何ぞやを追求しながら、自分にしかできない作品を追い求めて生きて行きたい。(花いちもんめ 久保敦子)